

自己評価の結果を踏まえて実施した「学校関係者評価」結果

玉名市立月瀬小学校

1 学校関係者評価結果（評価項目及び自由記述）

【評価の基準】

A：よくあてはまる→4点 B：ややあてはまる→3点 C：あまりあてはまらない→2点 D：まったくあてはまらない→1点 4点満点を100%として換算

学校生活全般について	25年度	26年度
(1) 子どもたちは、楽しく学校生活を送っていた。(子どもに笑顔があった。)	86.5%	97.7%
(2) 子どもたちは、元気よくあいさつをした。	86.5%	88.6%
(3) 子どもたちは、落ち着いた学習態度で学んでいた。	78.8%	86.6%
(4) 職員と子どもたちの関係は、温かい中に規律がある。	94.2%	88.6%
(5) 職員は、元気よく仕事していた。愛情ある指導していた。	92.3%	100.0%
(6) 職員の接遇は、明るく良かった。	98.1%	100.0%
(7) 学校は、校舎内外、美しく整備されていた。	92.3%	93.2%
(8) 学校は、きちんと運営されている。	96.2%	100.0%
(9) 学校は、信頼できる。	98.1%	100.0%
(10) 学校の敷居は低く、気軽に出向くことができる。	92.3%	100.0%

その他、授業や教室環境、校内の環境等で担任や学校に伝えたいこと（自由記述）

- 子どもは、明るく元気・活発で、先生は、熱心に愛情があり、何よりです。
- 先生方の愛情あふれる指導に感心しました。

2 学校関係者評価委員会の概要

- (1) 日時 平成27年3月4日（水）10：30～12：30（120分）
- (2) 場所 月瀬小学校 校長室・各教室
- (3) 日程
- | | |
|---------------------------------|-------------|
| ① 開会・挨拶、学校概要及び学校教育目標及び経営方針等について | 10：30～11：00 |
| ② 授業参観（全学年） | 11：05～11：30 |
| ③ 懇談 | 11：30～12：00 |
| i 学校教育活動アンケート結果とその対策や取組説明 | |
| ii 外部評価委員からの質問・意見や要望等について | |
| iii その他 | |
| ④ 給食試食 | 12：00～12：20 |
| ⑤ 評価、閉会 | 12：20～12：30 |
- (4) 参加者 学校評議員、区長、支館長、民生委員、長寿会長、読み聞かせ代表、中学校長・PTA会長、校長、教頭

(5) 意見や要望の概要

(学校評議員)

ノーテレビデーに取り組んでいると聞いたが、小学校では問題も少ないと思うが、小学校から、中学校に上がる時点で問題が大きくなると思う。最近、スマートホンのラインを使った事件はがとて多い。はじめは、携帯やスマートホンを取り上げる、使わせない、といった指導がなされていたと思うが、これからは、そのような指導はできないと思う。携帯、スマートホンなどは、必要な時代になっている。

今は、「やめなければならないときにやめることができる」子どもを育てていく必要がある。「使ってはダメ」ではなく、必要ならば使って、スマートホンにも慣れ、時と場所を考えて、「やめる」ことができるようにすることが大切。そのけじめが必要だと思う。

(区長A)

親が、いつも携帯やスマートホンに触っている状況。そこから考えなくてはいけない。

(区長B)

学校教育活動アンケートに「楽しく学校に来ている。」「月瀬小学校のことが好きだ。」とほとんどの子が回答していることは、嬉しい。また、近隣の小学校と交流学习をしていることは、良いことだと思う。統合に向けて、修学旅行などの学校行事等も一緒に行くようにもっと進めてほしい。

(中学校長)

小人数で仲がよいからこそ、相手の気持ちを考えすぎて、言いたいことが言えないという現状を聞き、なるほどと思った。中学校では、そのような人間関係の中で入学してくるためか、中学校になってもなかなか相手に言いたいことが言えない子が多い。トラブルになったとき、それに向き合えず、なかなか自分たちで解決ができないことや優しすぎ、相手を思うあまり自分が傷ついてしまう場合もある。コミュニケーション力の問題だと思う。

子どもたちは、直接相手に言えず、その気持ちをメールやラインに書き込んでしまうことがある。そこで、トラブルが起きている。子どもたちには、相手に自分の気持ちを直接伝えることが、できるようにしてはいけない。そして、今の状況では、もう携帯やスマートホンを買うなどは、言えない。中学校では、学校に持ってきた場合は、預かるという形を取っている。アンケートに中には、1日3時間以上使用していると答えている生徒がいる。正しい使い方を身につけるよう指導している。

玉陵中校区の「授業のこころえ」も小学校でできているから、中学校でそのままできるというわけではない。発達段階もあって、恥ずかしいという思いが生じてくるため、できなくなる時期もある。

月瀬小の学力では、小人数であるため、平均から考察することはできないと思う。一人一人の状況を見て、個別の指導を行うことが大切だと思う。

(PTA会長)

自分の子どもも、スマートホンを買って与えた。初めのうちは、友達を作りたいと思う気持ちが強いから、1日に大量のラインが届いており、それに返信するだけでかなりの時間をかけていたと思う。月瀬小は、人数が少ないため、いつも一緒に過ごしていたため、他の学校の友だちと、学校では話しにくかったのかもしれない。そのことを親子で話し、今は落ち着いたと思う。子どものスマートホンは、家庭でルールを決めるなど、親がちゃんと話すことが大切だと思う。

(学校評議員)

携帯やスマートホンを使い始めると、いつも手に持っていてないと不安という状況になっていると思う。しかし、もう携帯やスマートホンがないと困るようになっている。そのため、使い方をしっかり教える必要があると思う。専門的な知識を持った方の講演などもおこなって行くといいと思う。

(中学校校長)

実際に、正しい使い方等についての講演会には行っている。携帯やスマートホンでは、友だち関係が、学校外の広い範囲に広がるおそれがある。子どもたちへの指導も行い、周りの大人もしっかり気をつけていきたい。

3 考察と対策

「(4) 職員と子どもたちの関係は、温かい中に規律がある。」以外は、昨年度より高い評価をいただいた。職員と子どもたちの信頼関係をますます強くし、その中でも先生を敬い、きちんとした態度で接する子どもたちに育つよう指導していくこと。また、これまで以上に、学校、保護者、地域とが一体となって統合、小中一貫教育を推し進めていくことの2点を今後の重点努力事項とする。